

令和5年度主要な事業の実施状況報告

1 法人運営事業

1. 理事会、評議員会、監事監査の開催状況

期 日	場 所	内 容
5月17日	社会福祉協議会事務局 相談室	令和4年度監事監査
5月29日	文化会館フォルテ カルチャールーム	第1回理事会 議案9件： 専決処分（一般会計第2次補正予算の承認） 事業報告 一般会計決算の承認 社会福祉充実計画の承認 役員候補者の承認 定時評議員会の招集の決定 評議員補充候補者の推薦 評議員選任・解任委員の補充選任 評議員選任・解任委員の招集の決定 第1回評議員選任・解任委員会 議案1件： 評議員の選任
6月13日	文化会館フォルテ カルチャールーム	第1回定時評議員会 議案5件： 一般会計第2次補正予算の承認 事業報告 一般会計決算の承認 社会福祉充実計画の承認 役員の選任 第2回理事会 議案1件： 会長、副会長、専務理事の選定
3月19日	文化会館フォルテ ミーティングルーム	第3回理事会 議案9件： 専決処分（給与規程の一部改正） 一般会計第1次補正予算の承認 諸規則の一部改正

3月27日	文化会館フォルテ ミーティングルーム	事業計画 一般会計予算 役員補充候補者の承認 評議員会の招集の決定 評議員補充候補者の推薦 評議員選任・解任委員会の招集の決定 第2回評議員選任・解任委員会 議案1件： 評議員の補充選任 第2回評議員会 議案4件： 一般会計第1次補正予算の承認 事業計画 一般会計予算 役員の選任
-------	-----------------------	--

2. 会員の加入状況

区 分	会 員 数	金 額
	件	円
普通会員（年間300円以上）	8,557	5,062,649
特別会員（年間3,000円以上）	337	1,384,158
合 計	8,894	6,446,807

3. 野々市市社会福祉法人連絡会

（1）総会

期 日	協力団体	内 容
7月10日	市内社会福祉法人 19法人	来賓の臨席の元、市内全ての法人代表者が参加し、 総会を開催した。事業報告・決算、事業計画・予算の 承認を得る。 また、法人が行う地域公益事業の状況を共有した。

（2）運営委員会

期 日	協力団体	内 容
5月31日 7月10日 8月21日 11月29日 2月 7日	市内社会福祉法人 19法人	総会での議案内容を検討。互いの地域公益事業を共 有し、貸出ガイドマップの周知、災害時対応研修会の 計画等を行った。※能登半島地震の影響により中止 また、地域公益活動ができるよう事務局として支 援を行った。

(3) 市内社会福祉法人の地域公益活動事業への支援

主催法人	内 容
野々市市社会福祉協議会	・避難者応援家電バンク・フードパントリー協力 ・一人暮らし高齢者会食会（協力法人 堀内福祉会、和光会）

(4) 法人間の連携事業

市内8法人がボッチャ交流会やオンライン交流会、施設への訪問等の地域公益活動を事務局として支援した。

4. ののいち災害ボランティアネットワーク

平時からの分野を超えた幅広い交流をすることで、災害時の災害ボランティアセンター等を拠点とした活動に対する個人ボランティア・ボランティア等関係団体間、及び行政との連携の充実に図る。

期 日	場 所	内 容
9月28日	野々市市役所 201	運営委員会 ネットワーク設立に向け、それぞれの地域公益事業を共有し、事務執行に係る具体的な内容について協議、連携して災害ボランティア活動ができるよう事務局として支援を行った。
11月18日	野々市市役所 ホール棟	キックオフミーティング 来賓の臨席、住民・協力団体等が参加し開催した。目的や会則・役員・計画等の共有を行い、ののいち災害ボランティアネットワークの活動をスタートした。

5. 災害協定関係

期 日	協力団体	内 容
5月 9日	野々市市 野々市ライオンズクラブ	「災害福祉活動支援に関する相互連携協定」を締結

6. 災害ボランティアセンター運営職員派遣

派遣職員数	災 害	派遣日数	内 容
32名 (重複あり)	奥能登地震	珠洲市：延べ15日	5月17日～8月1日：計9回
	津幡町、かほく市 豪雨災害	津幡町：延べ2日	7月31日～8月1日：計1回
	能登半島地震	珠洲市：延べ21日	1月23日～3月20日：計7回
		穴水町：延べ5日	2月18日～3月7日：計3回
		七尾市：延べ8日	1月15日～1月22日：計8回
		羽咋市：延べ2日	1月29日～1月30日：計2回

7. 避難者応援家電バンク・フードパントリー

令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、避難者の生活再建の一助となるよう、2月1日より市民からの寄付や寄付金で購入した家電製品、食料品をみなし仮設住宅等にお住まいの方に提供している。

(1) 家電バンクへの寄付

件数	寄付金額等
18件	2,245,691円

(2) 家電バンク

寄付件数	寄付者数	利用件数	場所	内容
延べ628件	156人	延べ636件	J Aのいち 本町支店横 建屋	市民からの寄付や寄付金で購入した家電製品を、市内で生活を始める避難者に提供した。

(3) フードパントリー

利用件数	場所	内容
延べ915件	J Aのいち 本町支店横 建屋	市民から寄付いただいた食料を、市内で生活する避難者に提供した。

8. 被災者見守り・相談支援事業（支え合いセンター野々市）

令和6年能登半島地震において石川県より委託を受け、名称を「支え合いセンター野々市」とし、みなし仮設住宅に入居された避難者が安心して日常を営むことができるよう、生活支援相談員8名と職員3名が訪問し、見守り支援や、生活上の相談を行ったうえで、必要に応じて関係機関につなぐ等の支援を行っている。

2 地域福祉活動の推進

1. ひとり暮らし高齢者生きがい交流事業

期日	場所	内容	参加人数
12月4日 3月26日	ホテル翠湖 フォルテ	ひとり暮らし高齢者の外出機会の創造、地域との交流を目的として開催した。民生委員児童委員やボランティアグループ、市内社会福祉法人等にも協力いただき、地域との多様なつながりづくりを行った。	45名 62名

2. フードドライブ・フードパントリー

期 日	対象者	内 容
8月 9日	ひとり親	市民より食品の寄付を募り、市内ひとり暮らしの学生および市内ひとり親家庭の方々を対象に無料配布会を開催した（協力団体：野々市生活学校など）。 対象人数：135世帯

3 ふれあい活動の推進

1. ふくしフェス2023

期 日	場 所	内 容	参加人数
9月10日	市役所 あらみや公園	社会福祉功労者表彰および基調講演、ふれあいコーナーを同日開催した。講演では「福祉は近きにありて行うもの」と題し、金城大学人間社会科学部教授内慶瑞氏に講演いただいた他、トークセッションを実施し地域福祉活動への理解を深めた。ふれあいコーナーは、ボランティア団体や福祉事業所、企業等が、日頃の取り組み紹介や福祉への理解促進活動、防災活動など住民が楽しく、より身近に福祉に触れることができる催し物を企画・展開した。	人 466

2. ふれあい夏祭り（児童館と共催）

期 日	場 所	内 容	参加人数
8月25日	中央児童館	お年寄りと子どもたちが、輪投げや射的などの遊びを通じ交流を深めた。	人 48

3. ふれあいひなまつり会（児童館と共催）

期 日	場 所	内 容	参加人数
3月	老人福祉センター 椿荘	お年寄りと未就園児親子がひな祭りに関した紙芝居や歌を一緒に楽しむなどの交流を予定していた。	中止

※能登半島地震の2次避難所となったため中止

4. 障害者スポーツ交流大会

期 日	場 所	内 容	参加人数
11月19日	スポーツセンター	障害者の社会参加を図るとともに、健常者とのふれあい、関連ボランティア団体との交流を深めることを目的に開催した。 競技内容はボッチャを採用。	人 132

5. ふれあい事業

(1) 暑中見舞いハガキづくり (児童館と共催)

期 日	場 所	内 容	対象人数
7月	(協力) つばきクラブ アクティ8 すがはらクラブ たちのクラブ こうさぎクラブ ふじひらクラブ ふじひらにじいるクラブ カメラアクラブ あわだクラブ 学童クラブ和光	市内のひとり暮らし高齢者へ、放課後児童クラブの児童が書いた暑中見舞いのハガキを送った。	人 535

(2) 年賀状づくり

期 日	場 所	内 容	対象人数
12月	(協力) 布水中学校 つばきクラブ アクティ8 すがはらクラブ たちのクラブ こうさぎクラブ ふじひらクラブ ふじひらにじいるクラブ カメラアクラブ あわだクラブ 学童クラブ和光	市内のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯に、明るいお正月を迎えていただこうと、放課後児童クラブの児童や布水中学校の生徒がイラストやメッセージを添えた年賀状を送った。	人 521

4 総合相談事業

1. 心配ごと相談

内 容	場 所	相談日数	相談件数
法律相談 偶数月第4木曜日 (12月のみ第1木曜日) 相談員(金沢弁護士会)	社会福祉協議会 (福祉総務課分室)	6 日	21 件
一般相談 毎週木曜日 社協職員		44 日	1 件

2. 福祉サービスに関する苦情解決

福祉サービスの利用者からの苦情に対して、利用者の権利を擁護する観点から、苦情を密室化せず、社会性、客観性を確保した適切な解決を図るため、3名の委員を配置している。

3. 生活困窮者自立支援事業(市受託事業)

新規相談 件数	プラン作成 申込件数	内 容
176 件	60 件	生活困窮者が抱える複合的な課題に早期かつ包括的に対応する相談窓口を設置し、関係機関との連携のもと、課題解決に向けた支援を計画的に行った。 就労準備支援事業(相談、プラン共に2件)、家計改善支援事業(相談、プラン共に4件)含む。

4. 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

相談延件数	決定人数	決定件数	内 容
127 件	32 人	32 件	低所得世帯、障害者世帯、および高齢者世帯に対し、民生委員を通じ必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進、加えて在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようになることを目的とした制度であり、生活資金の融資あっせんをおこなう。令和6年能登半島地震に伴い1月22日より受付を開始した緊急小口資金(災害特例)貸付事業対応(相談37件、申請23件)含む。 令和2年3月23日に受付を開始したコロナ特例資金の借受人に対し、個別の状況に応じて借り入れ後の生活再建に向けた支援を継続的に実施。地域住民の集まる場に出向き、生活困窮者を含めた地域生活課題の把握を行った。

5. 福祉サービス利用支援事業

相談件数	契約件数	解約件数	利用者数	生活支援員数	内 容
件 21	件 4	件 4	人 17	人 9	判断能力の低下した高齢者や障害者が、地域で安心して日常生活を営むことができるよう、福祉サービスの利用や金銭管理、書類の預かり等の支援を計画的に行った。

5 広報、啓発活動の推進

1. 野々市市社会福祉功労者表彰贈呈式

期 日	場 所	内 容	参加人数
9月10日	野々市市役所 2階ホール椿	地域福祉に功労のあった者及び社会福祉施設・事業所における永年勤続者に対して、本会が感謝の意を表し、その功を称えることにより地域福祉の推進及び社会福祉サービスの向上に資することを目的とする。 ・社会福祉功労者表彰（29名）	人 約71

2. 「ののいち社会福祉」発行

発 行 日	発 行 回 数	配 布 先
6月1日 12月1日 3月1日	年3回	世帯 24,950 (全戸配布)

6 ボランティア活動への援助

1. ボランティア連絡協議会

加盟団体数	参加人数	内 容 等
団体 8	人 4 1 77	11月 4日 白山スマイルC a f e 視察 11月 23日 ボランティア全国フォーラム2023（東京都） 3月 4日 白山・野々市地域ボランティア連絡会 ボランティアのつどい

2. ボランティア団体活動の育成

団 体 名	内 容
食生活改善推進協議会、人形劇サークル くるりんぱ、女性協議会、コールあい、 けやき野苑、ボランティア探検隊飛鳥、 生活学校、レクリエーション協会	ボランティア活動を実施している団体・グループに、福祉 への関心と思いやりの心を持っていただき、社会福祉に寄与 する活動を支援した（8団体）。

3. ボランティア活動保険への加入促進

団 体 数	加 入 者 総 数	内 容
56団体 11個人	人 2,073	通常のボランティア活動保険：1,630名 大規模災害特例分（珠洲市）：5名 大規模災害特例分（津幡町）：4名 大規模災害特例分（能登半島）：434名

4. ボランティア登録促進

登 録 者 総 数
人 2,453

7 社会福祉団体等の育成

1. 社会福祉団体

団 体 名	会 員 数	事 業 費
	人	千円
民生委員児童委員協議会	99	745
老人クラブ連合会	819	
遺族連合会	113	(民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会 は、市より補助 6団体)
身体障害者福祉協議会	53	
母子会	43	
手をつなぐ育成会	43	

2. 福祉協力校及び協力園

団 体 機 関 名 等
高等学校 1 校、中学校 2 校、小学校 5 校、保育園・認定こども園 16 園（辞退 1 園）
・ 県立野々市明倫高等学校 ・ 市立野々市中学校、市立布水中学校 ・ 市立野々市小学校、市立御園小学校、市立富陽小学校、市立館野小学校、市立菅原小学校 ・ 市立富奥保育園、市立押野保育園、市立御経塚保育園、市立あすなろ保育園、市立中央保育園、幼保連携型認定こども園はくさん保育園、幼保連携型認定こども園和光、幼保連携型認定こども園エンジェル保育園、法人ふじひら保育園、ほりうちこども園、幼保連携型認定こども園つばきこども園、認定こども園アリスこども園、幼保連携型認定こども園あわだこども園、認定こども園ほのみこども園、認定こども園なごみこども園、幼保連携型認定こども園ヴィテン SMC こども園

3. 障害者理解促進研修・啓発事業

（1）ふくし体験事業

期 日	場 所	内 容	参 加 者
6 月 23 日	富陽小学校	当事者による日常生活の講話、車いすバスケット体験、福祉疑似体験、ゆるスポーツ体験などを総合授業「福祉」の一環として行った。	児童 448 名
9 月 15 日	同上		
10 月 16 日	館野小学校		
10 月 17 日	同上		
10 月 18 日	富陽小学校		
11 月 1 日	野々市小学校		
11 月 14 日	菅原小学校		

（2）野々市市理解促進・啓発のための障害者施設等製品物産展及び活動紹介パネル展

期 日	場 所	内 容	参 加 者
12 月 7 日	イオンモール 白山	障害福祉サービス事業の活動を知る機会や利用者自らが関わった製品を販売する機会を確保し、障害への理解や障害のある方の地域生活の支援等を目的に販売会とパネル展示会を行った。	9 事業所 来場者 85 名

(3) 野々市市障害者理解促進・啓発のための障害者作品展

期 日	場 所	内 容	参 加 者
10月14日 ～22日	学びの杜 ののいちカレード	障害への理解や障害のある方々の 文化・芸術活動の振興、社会参加の促 進を目的に作品展を行った。 市美術展と合同の開催。	8事業所 52名 46作品

8 援助活動の推進

1. 共同募金事業

(1) 募金実績

募 金 名	件 数	金 額
	件	円
赤い羽根共同募金	644	747,505
歳末たすけあい募金	7,794	7,461,239

(2) 公募制補助事業

期 日	内 容
4月20日～5月19日	申請受付期間
6月 7日～6月12日	第一次審査会（書類審査）14団体
7月 6日	第二次審査会（プレゼン審査）11団体 開催場所：カミーノ

採択団体	内 容
団体 11	市内や町内会の支え合いや地域共生社会づくりにつながる活動を支援することを 目的に公募申請のあった団体に対し補助金を交付した。 採択団体：nono1 みんなの食堂、ちょっとボランティア、丸木わいわい食堂、「わ」、 憩いのカフェ、すがはらいきいきクラブ、コールあい、太平寺カフェ、絵本・つむ ぐ・未来、ほっとなちゅれ、野々市人形劇サークルくるりんぱ（うち1団体辞退）

2. 歳末たすけあい事業

(1) 慰問

期 日	対象者数	内 容
12月14日 ～28日	976名	市内ひとり暮らし登録者および避難行動要支援者名簿登録者、ののいち自立生活サポートセンター利用者、ひとり親家庭等へ民生委員児童委員の協力を得てご芳志を届けた。

(2) 福祉施設助成

期 日	事業所数	内 容
12月20日	9事業所	市内障害福祉サービス事業所が年末年始時期に行う活動に対し助成を行い、地域交流等に活用した。

3. 基金・寄付

(1) 社会福祉事業基金

件 数	寄 付 金 額 等	基 金 総 額
1件	5,219円	127,360,126円

(2) 法人運営事業への寄付

件 数	寄 付 金 額 等
8件	203,939円

9 地域福祉活動計画の推進

1. 評価委員会

期 日	場 所	内 容
11月 2日	野々市市役所	計画の体系等の推進状況及び成果指標の説明を行った。

10 地域力強化推進事業

1. 地区ネットワーク会議開催について

開催地区	期 日	場 所	内 容
本町地区	4月28日	カミーノ	取り組み内容について話し合い
	5月27日		いきいきサロン体験会
	6月28日		取り組み内容について話し合い
	8月 7日		学童クラブと老人クラブ交流会
	11月29日		取り組み内容について
富奥地区	4月26日	富奥公民館	課題決め
	6月30日		〃
	8月31日		〃
	3月29日		課題決定 富奥地区において「コミュニティカフェ」 の開催について
郷地区	6月 7日	郷公民館	課題決め
	9月12日		ゴミ出しルールの内容検討
	11月28日		モデル事業説明会
	1月21日		周知・今後の進め方について 連合町内会総会 事業説明
押野地区	4月18日	押野公民館	カフェ・サロンの立ち上げについて
	7月 5日		カフェ・サロンの立ち上げ支援について

11 在宅介護事業

1. 訪問介護事業（ヘルパー派遣事業）

実利用者数	回 数	内 容
人 905	回 8,570	ホームヘルパーが家庭を訪問して身体介護や生活援助 サービスを提供し、自立支援を図った。

2. 居宅介護支援事業（ケアプラン作成事業）

実利用者数	内 容
人 1,683	介護保険の理念に基づき、可能な限り自立した生活を送れるように利用者 及び家族とともに話し合い、必要とする居宅サービス計画を作成し、日常生 活の支援を図った。

3. 常勤・登録ヘルパー活動状況

登録人数	実活動人数	年間活動時間	一ヶ月平均時間
人 20 (常勤 4) (登録 16)	人 延べ 175	時間 7,834	時間 652

4. 障害者支援費事業

実利用者数	回数	内 容
人 153	件 1,675	障害者及び障害児が在宅において日常生活を営むことができるよう、ガイドヘルパーやホームヘルパーの派遣を行った。

5. 産後安心ヘルパー派遣事業（受託事業）

内 容	延べ利用者数
産婦の体調不良等により育児又は家事が困難な家庭にヘルパーを派遣し、産婦の子育て支援を図った。	人 33

6. 障害者相談支援事業

相談延件数	計画相談 契約者数	内 容
件 135	人 48	障害児・者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談等対応やサービス等利用計画等の作成を行った。

12 福祉施設の管理事業

1. 福祉課分室（社会福祉協議会事務局）

会議室の利用状況

日 数	延べ利用件数	内 容
日 243		社会福祉協議会の事務所として利用。また、会議室を福祉団体に開放（職員の勤務時間中）。

※コロナ感染症対策として令和2年4月14日より相談業務を会議室へと移し、会議等については開催せず。

2. 老人福祉センター椿荘

※1月12日より臨時休館とし、令和6年能登半島地震避難所として運営

(1) 施設利用状況

開館日数	延べ利用者人数	一日平均延べ人数
日 227	人 17,951	人 79.1
開湯日数	開湯延べ人数	開湯一日延べ人数
日 152	人 16,544	人 109.6

(2) 事業実施状況

(趣味)

教室開設数	延べ回数	延べ受講者人数	内 容
教室 8	件 206	人 904	手芸、詩吟、書道、茶道、大正琴、折紙、絵手紙、ボイストレーニング

(健康)

教室開設数	延べ回数	延べ受講者人数	内 容
教室 1	件 33	人 137	体操教室 (若葉会)

(3) 施設慰問（ボランティア）状況

団体数（延べ数）	人 数	内 容
団体 11	人 125	清掃活動、交流活動

(4) バス運行状況（延べ年間利用人数）

運行日数	押野、本町 コース	栗田、新庄 コース	郷、御経塚 コース	合 計 (延べ人数)	一日平均延べ 人数
日 152	人 855	人 418	人 897	人 2,170	人 14.3

3. いきがいセンター御経塚

(1) 施設管理状況

開館日数	登録者数	延べ利用 人 数	1日利用者 人 数	内 容
日 2 4 2	人 3 7	人 1, 9 3 6	人 7. 9	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、各種サービスを提供することで自立の助長を図った。

(2) 地区別延べ利用者数

本 町	富 奥	郷	押 野	合 計
人 4 2 1	人 5 9 6	人 3 1 1	人 6 0 8	人 1, 9 3 6

(3) ボランティア受け入れ状況（年間延べ件数）

団体数（延べ回数）	個人（延べ回数）
5	